



SEAHAWK PTE LTD 最高経営責任者。ノースカロライナ大学卒業。シンガポールでの銀行で約10年間、金融商品のディーリングをした後、2006年までオーストラリアで自己資本を運用するプライベート・トレーダーとして活躍。帰国後、FX業者でディーリングやコンサルティング業務に従事。現在、運用の傍ら投資関連の企画やルール開発を行っている。アドバイザー兼トレーダー仲間として、ラリー・ウィリアムズやジョー・ディナポリ、ラルフ・ビンズから絶大な信頼を得ている。

【用語集】

■COT レポート

COT レポートとは、アメリカの政府機関である CFTC（商品先物取引委員会）が毎週金曜日に公表するもので、そこには、毎火曜日におけるトレーダー種別毎の先物各銘柄ポジション状況などが書かれています。COT レポート自体は CFTC のサイトから無料でダウンロード可能です；

<http://www.cftc.gov/MarketReports/CommitmentsofTraders/index.htm>

■COT レポートインデックス

COT レポートのトレーダー種別毎のポジションをある一定期間の推移を指数化して、0 から100%で表示しています。通常、過去6ヶ月間のポジションの指数化しています。

■取組高

取組高とは、反対売買されずに残っている売買契約の数量のことで、未決済残高または建玉残とも言います。

■シーズナル

シーズナル（シーズナルパターン、シーズナルトレンド）とは、季節性周期のアノマリーです。

■バリュエーションモデル

バリュエーションモデルとは、ラリー・ウィリアムズ氏によって開発されたインディケーターの一つで、国債、金利市場と比較したインディケーターです。割高か割安になっているか示します。

NY 金先物

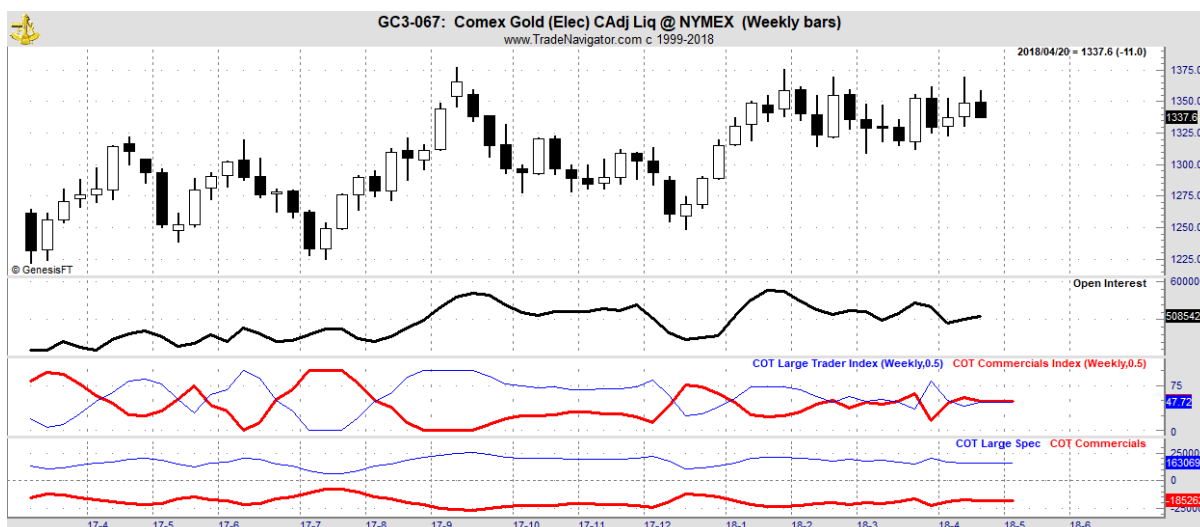


図1 NY 金先物（週足）、取組高、COT レポートインデックス、COT レポートデータ：ジェネシス社

COT レポートをみる限り、実需筋のコマーシャルズと大口投資家のファンド筋に変化はありません。完全に動機薄になっているため、COT レポートインデックスは 50%のニュートラルに位置しています。

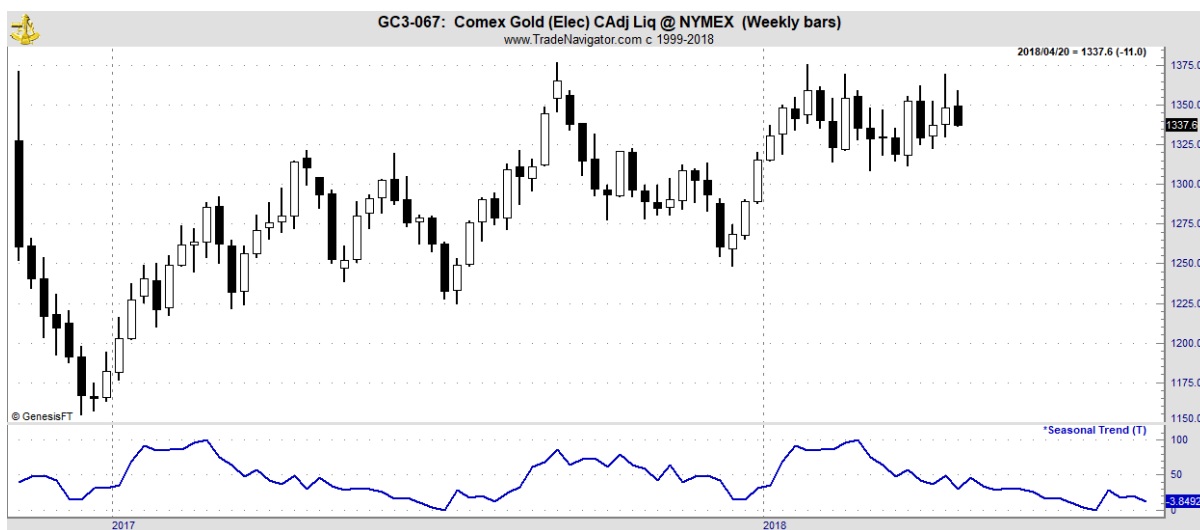


図2 データ：ジェネシス社 NY 金先物（週足）、シーズナル

NY 金先物は比較的、シーズナルパターンにそった動きをみせています。7 月初めまでゴールドは軟調に推移するでしょう。

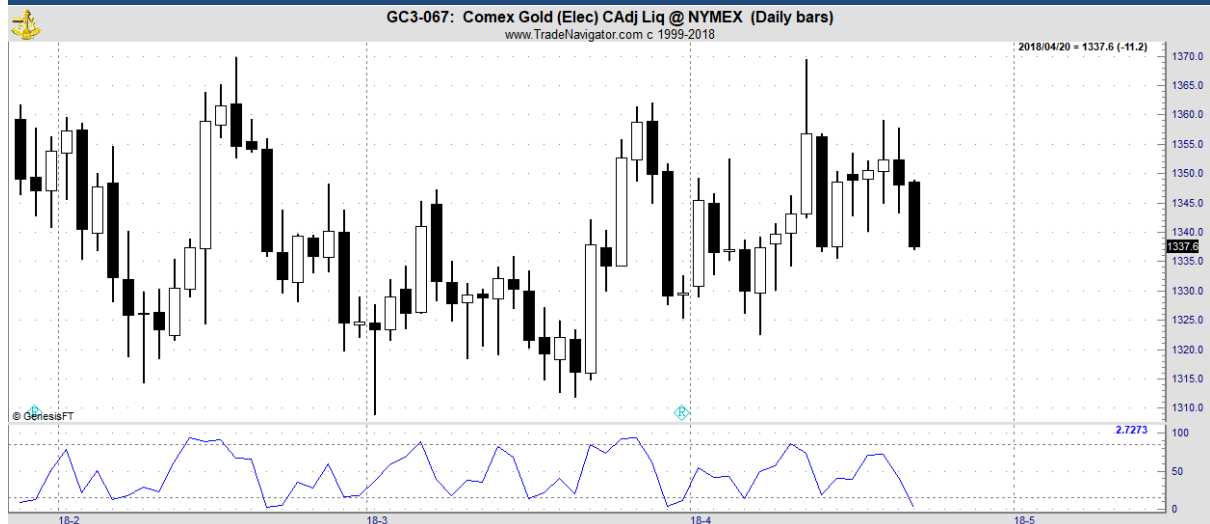


図3 データ：ジェネシス社 NY金（日足）、ストキャスティックス

NY金先物のレンジ：4月16日～4月20日

始値	高値	安値	終値	先週末比
1349.8	1359.0	1337.0	1337.6	-0.82%

NY金先物は横ばい状態が続いていますので、短期ストキャスティックスが売られ過ぎになっているところは買いシグナルを探すべきでしょう。米ドルの動きに振り回されている感じのゴールドです。もうしばらく、このレンジ内で短期売買をすることになるでしょう。

NY 原油先物

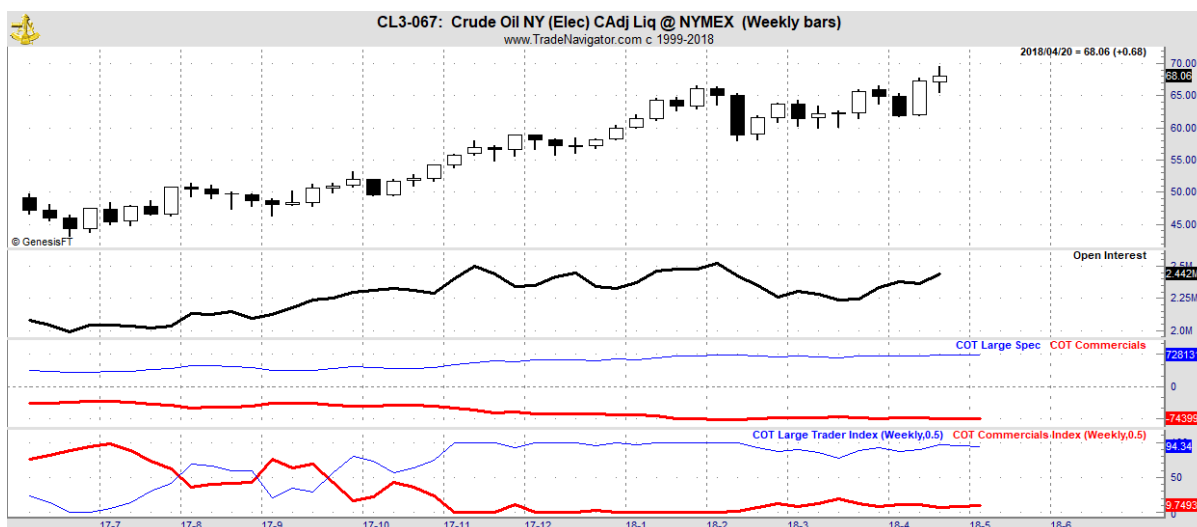


図1 NY原油先物（週足）、取組高、COTレポート、COTレポートインデックス
データ：ジェネシス社

再び取組高が上昇しました。大口投資家のファンド筋がロングポジションを増やしています。原油在庫は減少傾向にあるため、原油先物価格は想像より激しく変動しています。

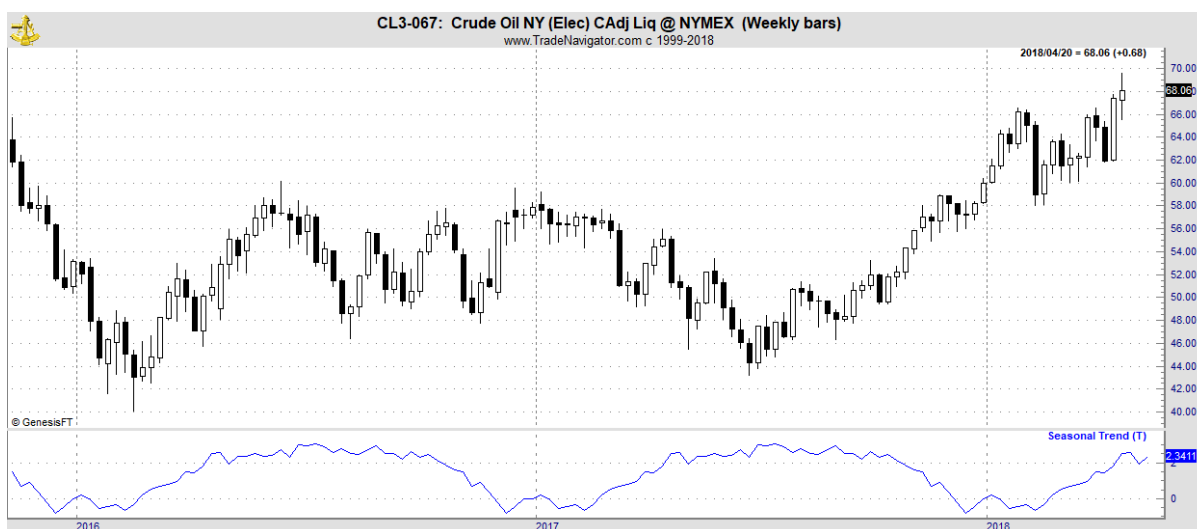


図2 データ：ジェネシス社 NY原油先物（週足）、シーズナル

NY原油先物（WTI）のシーズナルは7月初めまで上昇基調です。WTIはこの流れに沿ってあげてきています。しかし、先週のレポートでも書きましたが、WTIは金や米国債と比べてかなり割高になっています。そのため、70ドルを超えて引けるのは難しいでしょう。

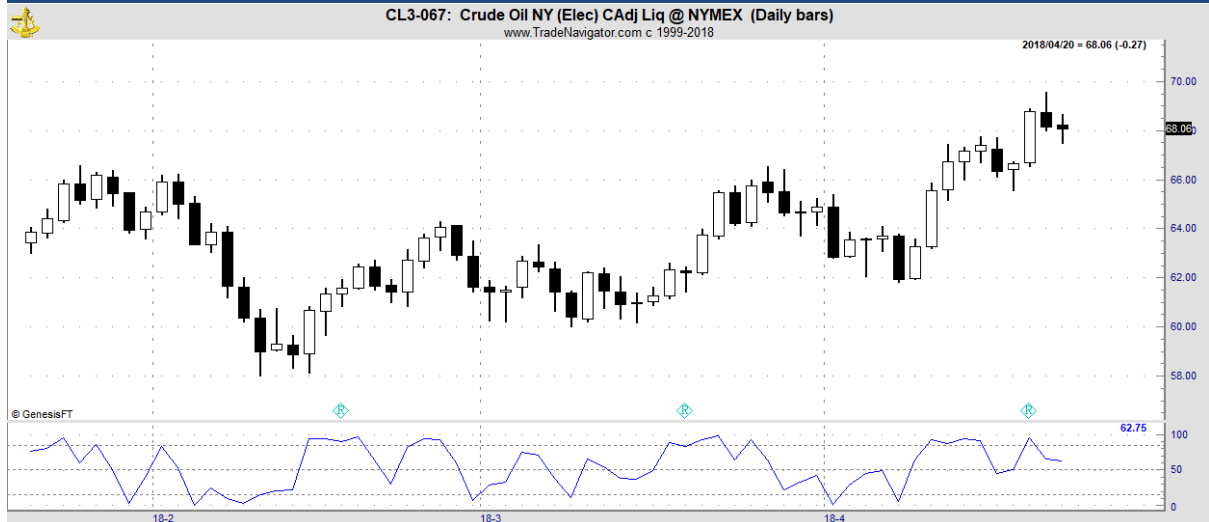


図3 データ：ジェネシス社 NY原油先物（日足）、短期ストキャスティックス

NY原油先物のレンジ：4月16日～4月20日

始値	高値	安値	終値	先週末比
67.23	69.55	65.55	68.06	1.01%

NY原油先物市場は短期的に買われ過ぎになっていました。これまでのレジスタンスの66ドルがサポートされるか試されるでしょう。これと言ったダイバージェンスが確認されていないため、66ドルはサポートされると思っています。しかし、70ドルを超える要因もなく、徐々に横ばいになっていくと予測しています。

■ E-mini S&P500 先物

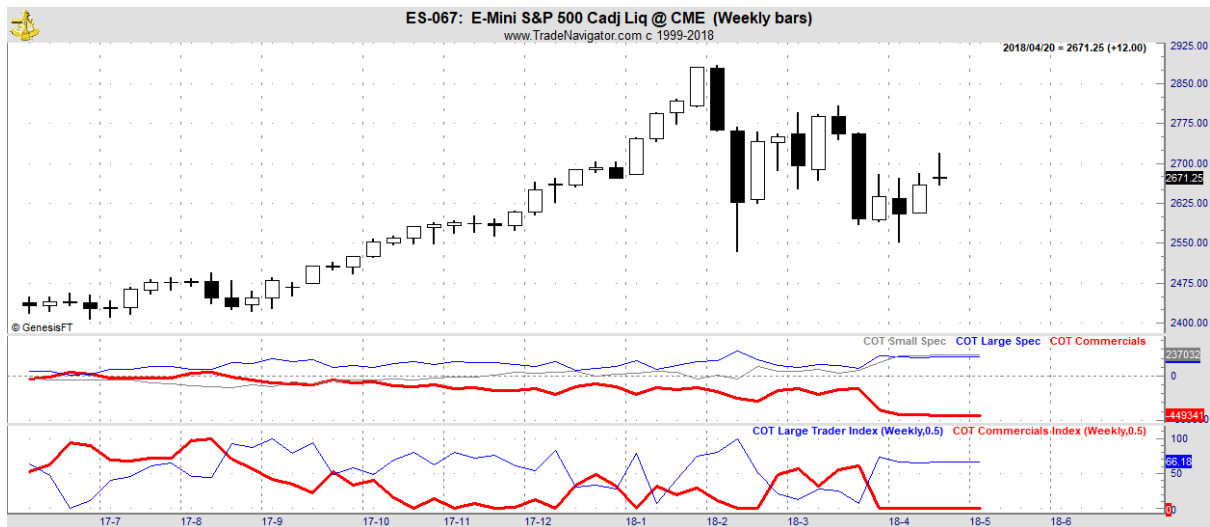


図1 E-mini S&P500 先物（週足）、COT レポートインデックス、COT レポート
データ：ジェネシス社

先週、小口投資家は E-mini S&P500 先物をかなり積極的に積みましています。年初来、最大のロングポジションを積み上げてきています。実需筋のコマーシャルズは引き続き、売りヘッジを推し進めています。全体的にマーケットはロングに傾いています。

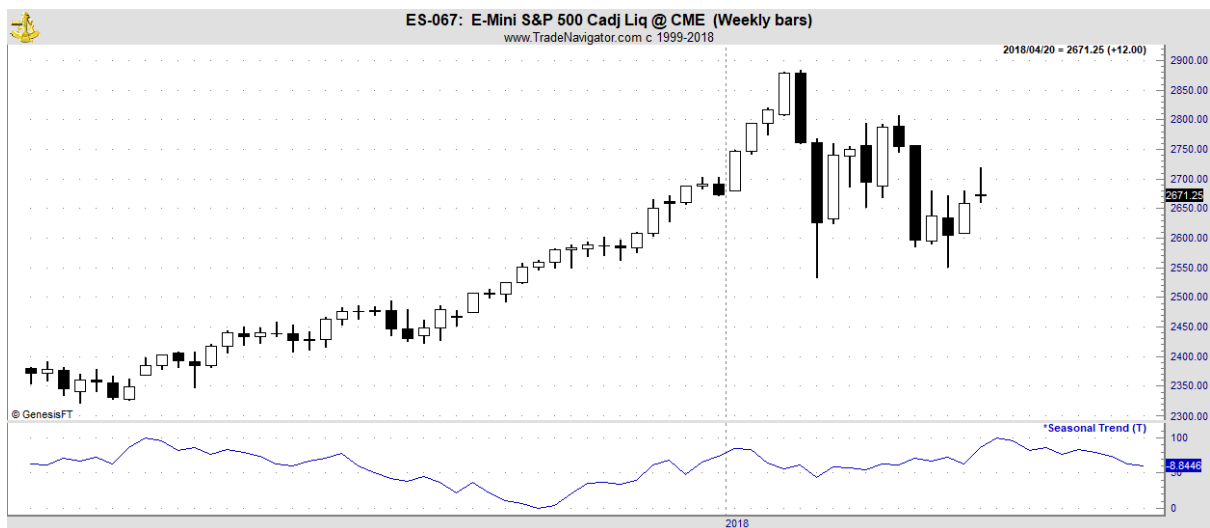


図2 データ：ジェネシス社 E-mini S&P500 先物（週足）、シーズナル

E-mini S&P500 先物は 4 月いっぱい、上昇基調になっていますが、その後、下降してきています。一般に知られている“5 月に売ってマーケットから離れる”と言うことのようにです。しかし、今年は中間選挙もあり、一方的に下降するとは思えません。

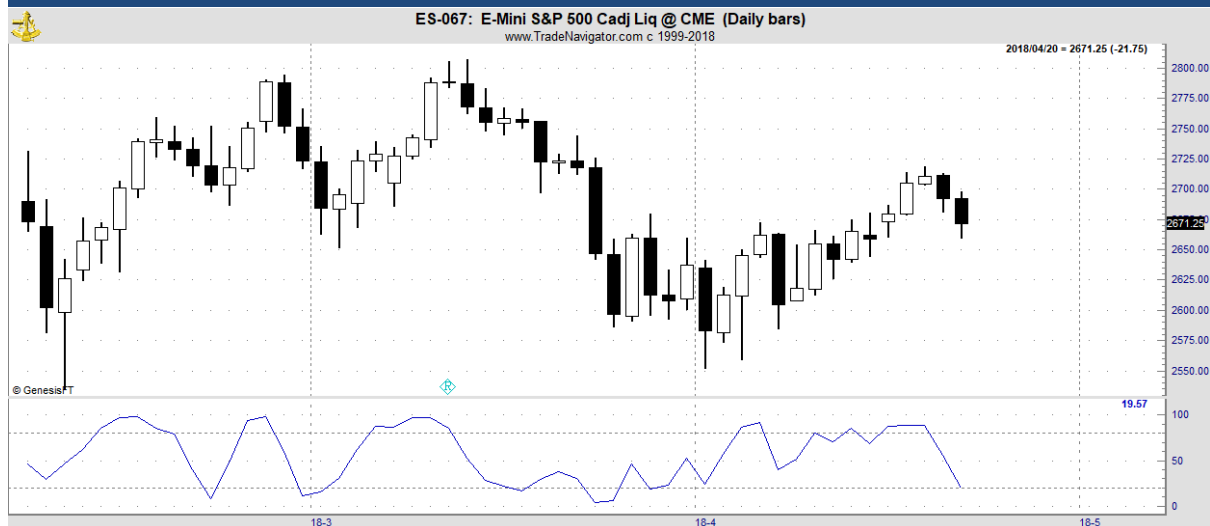


図3 データ：ジェネシス社 E-mini S&P500 先物（日足）、ストキャスティックス

E-mini S&P500 先物のレンジ：4月16日～4月20日

始値	高値	安値	終値	先週末比
2673.25	2718.50	2659.75	2671.25	0.45%

E-mini S&P500 先物は短期ストキャスティックスが売られ過ぎになっています。前日の高値をブレイクしてくると、再び上昇に転じるでしょう。

■ CME 日経 225 先物

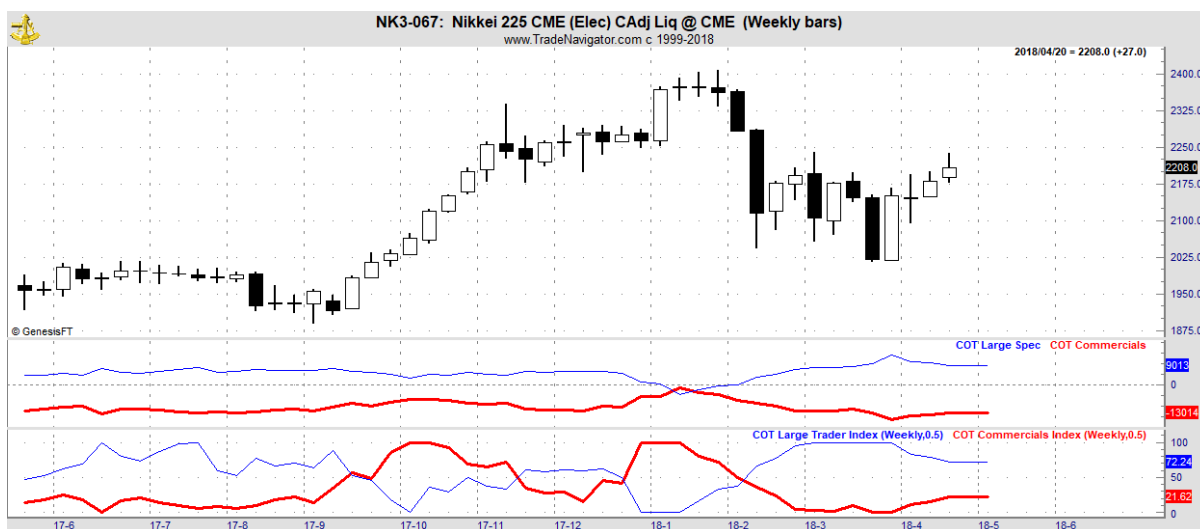


図1 CME 日経 225 先物（週足）、COT レポートインデックス、COT レポート
データ：ジェネシス社

実需筋のコマーシャルズが売りヘッジポジションを解消してきます。そのため、買戻しは予想以上に強くなっています。一方で、大口投資家のファンド筋は目先のロングを売り落ちして、利益を確定させていたようです。

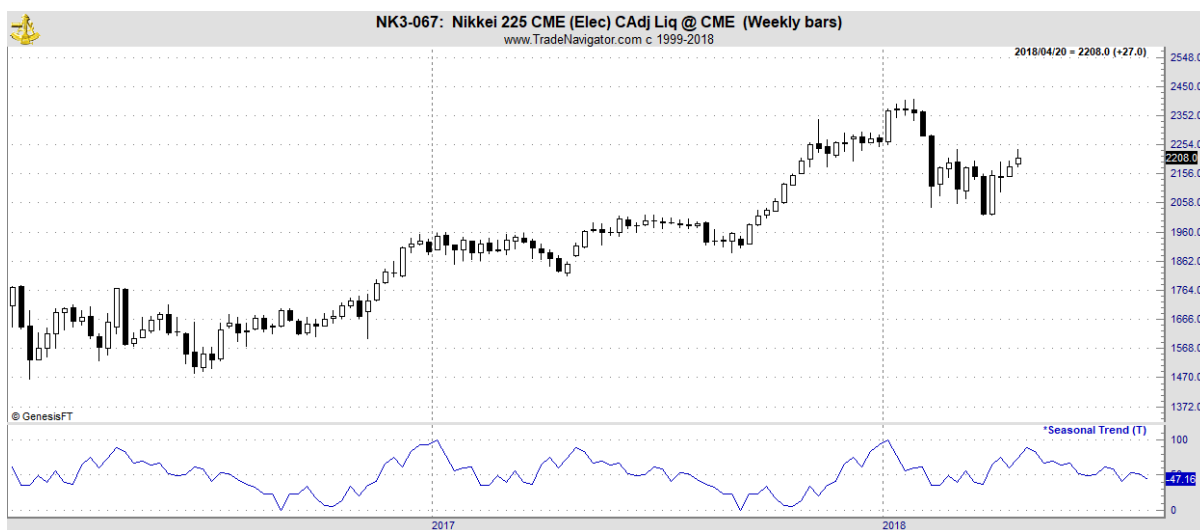


図2 データ：ジェネシス社 CME 日経 225 先物（週足）、シーズナル

CME 日経 225 先物のシーズナルは、4 月いっぱい堅調に推移していますが、5 月から下降すると示しています。ここまで反発して上げてきていますが、これ以上の上昇は厳しいでしょう。

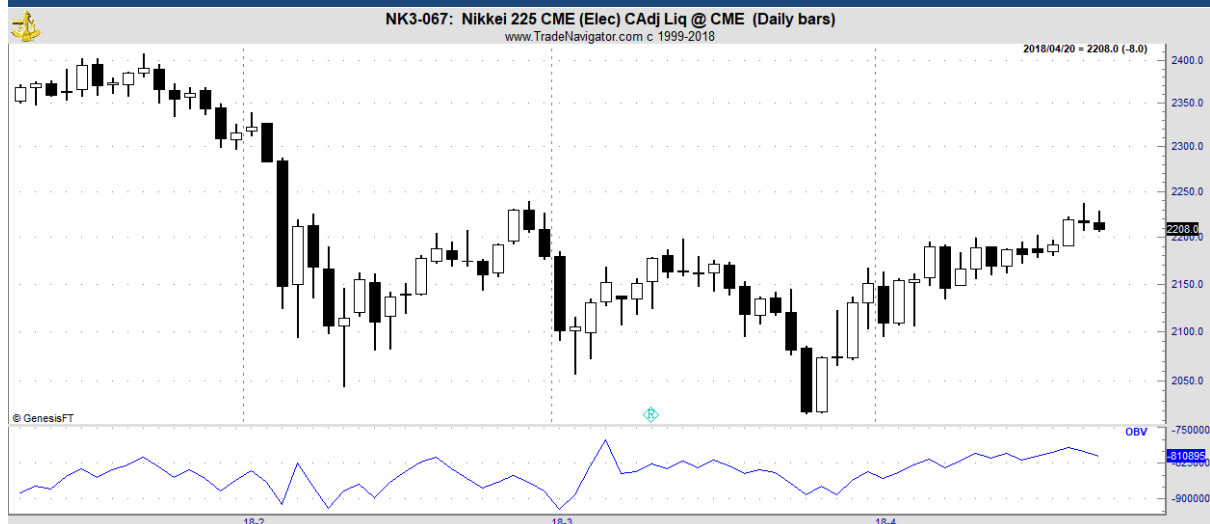


図3 データ：ジェネシス社 CME 日経 225 先物（日足）、OBV

CME 日経 225 先物のレンジ：4 月 16 日～4 月 20 日

始値	高値	安値	終値	先週末比
21880	22375	21785	22080	1.24%

CME 日経 225 先物の OBV は順調に上げてきていますが 3 月初めの高値を超えていません。予想以上に頭が重いようです。

【本レポートについてのご注意】

■本レポートは、投資判断の参考となるべき情報提供のみを目的としたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。

■本レポートは、作成時点において執筆者およびサクソバンク証券（以下「当社」といいます。）が信頼できると判断した情報やデータ等に基づいて作成されていますが、執筆者および当社はその正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本レポートに記載の情報は作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。

■本レポート内で示される意見は執筆者によるものであり、当社の考えを反映するものではありません。また、これらはあくまでも参考として申し述べたものであり、推奨を意味せず、また、いずれの記述も将来の傾向、数値、投資成果等を示唆もしくは保証するものではありません。

■お取引は、取引説明書および約款をよくお読みいただき、それらの内容をご理解のうえ、ご自身の判断と責任において行ってください。本レポートの利用により生じたいかなる損害についても、執筆者および当社は責任を負いません。

■本レポートの全部か一部かを問わず、無断での転用、複製、再配信、ウェブサイトへの投稿や掲載等を行うことはできません。